

## 令和6年度 公募研究助成の審査結果について

日本透析医会では、公益事業の一環として、適正な人工透析療法の普及、技術の向上及び腎不全医療（特に透析医療）を推進するための学術研究に対し、助成を実施しております。

令和6年度の公募研究助成については、多数の応募をいただき、研究助成審査委員会において厳正、慎重に審査を行い、理事会の承認を経て、以下の10課題に対し総額21,000,000円を助成することといたしました。

1. 細胞老化機構に着目した慢性腎臓病の病態解明と治療応用 3,000,000 円  
大阪大学大学院医学系研究科 遺伝学 南 聡
2. 慢性心不全を有する腹膜透析患者に対するダバグリフロジンの有効性及び安全性を検討する多施設共同無作為化オープンラベル並行群間比較試験 2,472,000 円  
新潟大学医歯学総合病院 山本 卓
3. 血液透析患者の身体活動の特殊性に着目した新規活動量パラメーターの探索 2,156,000 円  
大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 坂口 悠介
4. 維持血液透析患者におけるダメージ関連分子パターン（Calprotectin）とアウトカムの検討 2,289,000 円  
大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 仲谷 慎也
5. 持続腎代替療法を要する敗血症性AKI患者における血中レニン濃度と免疫細胞状態および臨床予後の関係 1,500,000 円  
東京大学医学部附属病院 救急・集中治療科 堀江 良平
6. 副交感神経を介した高塩分負荷に対する腹膜保護メカニズムの解明 2,020,000 円  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 内臓機能生理学 梅根 隆介
7. 高齢腎不全患者の腎代替療法選択に関わる看護師の意思決定支援実践評価尺度の開発 508,000 円  
静岡県立大学 看護学部 榊 みのり
8. シルバーCAPDカテーテルのPD関連感染症予防効果の検討：多施設無作為化オープンラベル比較対照試験 2,850,000 円  
奈良県立医科大学 腎臓内科学 鶴屋 和彦
9. 糖尿病性腎臓病の進行におけるNon junctional claudin-1の役割の解明 1,370,000 円  
岡山大学医学部 腎臓内科 福島 和彦
10. 長期間・軽度リン負荷の生存率への影響とその性差の解明 2,835,000 円  
大阪大学医学部附属病院 腎臓内科 松本あゆみ